

## 「無精子症」などに対する手術療法(TESE)について

津田沼 IVF クリニックでは、男性不妊の重大な原因のひとつである「無精子症」などに対する手術療法(TESE)を、泌尿器科医師と協力して行っております。

### ◇精巣内精子採取術(精巣内精子抽出術 testicular sperm extraction(TESE)) について

主として顕微授精(ICSI)に用いるために、精巣から精子を回収することです。

### ◇適応

無精子症が主な対象となります。

このうち、精管・精巣上体管・射精管・精巣輸出管などの精路通過障害のある閉塞性無精子症の場合には、精路再建が治療の第一選択となりますが、精路再建不能の場合や精路再建時に再建不成功の場合に備えて行われます。

精路通過障害のない、いわゆる非閉塞性無精子症に対して、カップルの実子を得る最終手段として行われます。

まれに、射精液中に運動精子が全くない不動精子症や、死滅精子症も適応となります。

また、原発性射精障害や、脊髄損傷や糖尿病による射精障害も、症例を選んで適応となる場合があります。

### ◇TESE の適応

- ・絶対適応(TESE-ICSI 以外に挙児手段がない)
  - 非閉塞性無精子症
  - 精路再建不能な閉塞性無精子症
  - (先天性両側精管欠損症、精路閉塞部位が長い)
  
- ・相対的適応(症例を選んで施行)
  - 不動精子症、死滅精子症、射精障害

### ◇方法

主として閉塞性無精子症や射精障害のように、高い確率で精子回収が望まれる場合に適応となる Conventional TESE と、精子が存在するとしても精巣のごく限られた部分にしかない、非閉塞性無精子症が適応となる Microdissection TESE (MD-TESE) という手術用顕微鏡を用いて精細管組織を採取する方法があります。

当クリニックでは、Conventional TESE を採卵に先行して行い、凍結保存精巣内精子で ICSI を行う方法を取っています。

A. 局所麻酔・静脈麻酔・吸入麻酔で行います。

B. 右または左の陰嚢皮膚を2cm 程度、精巣白膜を5mm 程度切開して精細管組織を採取し、検査室の培養液中で細切し、精子の有無を調べ、精子が存在した場合はこれを凍結保存し、後日に ICSI に用います。

存在しない場合は、対側で同様のことを行い、それでも存在しない場合は並行する病理検査を見て、後日再検査することがあります。

◇日帰り手術です。また原則として、術後の診察は必要ありません。

泌尿器科医師は当クリニックに常勤していませんので、まずはお近くの泌尿器科を受診され、TESE が必要と診断されましたら、ご来院下さい。または、今までの精液検査の結果を当クリニックへお見せいただき、こちらから泌尿器科をご紹介させていただくことも可能です。